

令和3年度第2回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 令和3年9月16日（木）10：00～11：35

方 法 Web 会議（Zoom）

出席者 坂井学長、重原理事、柳澤理事、西井理事、岡村理事、中村理事、
内海委員、佐々木委員、砂川委員、利根委員、平本委員、山名委員

欠席者 小安委員

陪席者 山中監事、齋藤監事、市橋副学長、田代副学長、川合副学長、川又副学長、
木崎副学長、伊藤副学長、末松人文社会科学研究科長、禹経済学部長、
薄井教育学部長、黒川理工学研究科長、石井理学部長、前山工学部長

○ 坂井学長から、小安委員が本会議を欠席する旨報告があった。

○ 令和3年度第1回及び臨時経営協議会の確認について

令和3年度第1回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録（案）（令和3年
6月24日開催）及び令和3年度臨時国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録
（案）（令和3年7月16日～27日書面開催）の確認が行われ、了承された。

※各事項における意見等は次のとおり（☆学外委員、△学内委員等）

○ 審議事項

1 令和3年度国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告について

坂井学長から、資料2に基づき、本学における国立大学法人ガバナンス・コードの
適合状況等について、さらには事前意見照会により提出された学外委員からの意見
についての報告があり、審議の結果、承認された。

△ 学外委員の方々の組織運営等の経験から、国立大学法人ガバナンス・コードの記載
事項である「経営人材の育成」について工夫している点等があればお聞かせ願いた
い。

☆ 時代に合った経営人材が必要とされており、そういった人材を養成しているとい
うことも外から見て分かるようにすることが求められている。組織において求める
経営人材の姿を定め、対象者はどういったステップで目指していくのかを具体的に
まとめて知らしめる、ということを実施している。具体的な事項を記載することは難
しいと思われるが、組織を担う者としての最低限必要な能力や資質を掲げて、それ
を目指して人材を育てていく、又は意欲のある者が進んでいく、という仕組みを作っ
ていくべきだと思われる。

☆ 民間企業や別の組織への出向等を通じて、異なる組織や社会の中での業務や経営

について経験することなどが考えられるが、こういった職位や年齢を対象に、こういったスパンで育てるか、ということも整理しなければならない。

△ 事務職員には従来から出向はあるものの、新たな形での出向等の検討により、職員にも経営に参画してもらう方向で考えていきたい。

2 第4期中期目標・中期計画素案「その他の記載事項」について

川又副学長から、資料3に基づき、第4期中期目標・中期計画素案における「その他の記載事項」について説明があり、審議の結果、一部文言修正を行った上で、承認された。

☆ 新型コロナウイルス感染症に関する対応における学生や教職員への安全管理等についても、資料3中の「安全管理に関する計画」に含まれているのか。

△ 第4期の6年間におけるコロナ禍の状況を見通すことが困難であるため、新型コロナウイルス感染症に注目した記載は行っていない。

☆ エビデンスをもって今後を見通すことは困難かと思われるが、影響はしばらく続く可能性があるため、記載について検討してはどうか。

△ 新型コロナウイルス感染症への対応については、記載する方向で修正検討したい。

○ 報告事項

1 埼玉大学発展・変革ビジョンの実現に向けたロードマップについて

坂井学長から、資料4に基づき、「社会の変革を見据えた新たな発展に向けた変革ビジョン（埼玉大学発展・変革ビジョン）」における進捗状況や計画変更状況について説明があった。

☆ 「ICT 関連人材の要請」の進捗が遅れているが、状況について説明願いたい。

△ e ラーニングのシステムを整備し、全学生を対象に受講させることを計画していたが、準備状況が遅れているため、計画自体の見直しを行っているところである。

☆ 今後は ICT 関連の知識は全学生にとって相当ウエイトが高くなると思われるので、取組の推進を是非お願いしたい。

2 令和4年度概算要求について

西井理事から、資料5に基づき、令和4年度概算要求の全体像及び教育研究組織改革分（組織整備）について説明があった。

3 令和2事業年度財務諸表の文部科学大臣承認について

西井理事から、資料6に基づき、令和2事業年度財務諸表が文部科学大臣の承認を得た旨報告があった。

4 住宅展示場運営事業者を対象とした埼玉大学土地の貸付について

西井理事から、学生宿舍南側緑地等の貸付のための一次基本合意を締結した住宅展示場運営事業者からの申出を受け、解約に至った旨報告があった。

5 第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果について

川又副学長から、資料7に基づき、第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果の概要について説明があった。

○ その他

1 埼玉大学の最近の動向について

学長及び各担当理事・副学長から、埼玉大学における最近の活動内容について、下記のとおり報告があった。

（1）職域接種及び新型コロナウイルス感染症への対応（担当：木崎副学長）

本学における職域接種の実施状況及び現在までの新型コロナウイルス感染状況について報告があった。

（2）後期における授業実施方法及び学生支援関係（担当：柳澤理事）

後期の授業については、教室でも自宅でも受講可能なハイフレックス形式を基本とし、実験・実習や少人数のゼミ等については対面実施としていることについて報告があった。

学生支援関連として、外部から物資提供によるフードパントリーや埼玉大学生協の協力によるランチ無償提供の実施、埼玉大学緊急支援奨学金の支給、現在準備中のクラウドファンディングを利用した「100円定食」の提供、就職支援の新企画である「SU Career Buddy」等について報告があった。

（3）留学関係及び英語教育関係（担当：市橋副学長）

後期以降における本学からの派遣留学生や外国からの受入留学生の状況、短期の受入制度であるサマープログラムの受入状況について報告があった。

本学における英語教育全体の見直しや拡充を行い、令和4年度より新たな全学英語カリキュラムを開始する旨報告があった。

（4）ダイバーシティ関係（担当：田代副学長）

「女子中高生の理系進路選択支援プログラム（JST）」の採択、「防災・日本再生シンポジウム（国立大学協会）」の採択など、ダイバーシティ推進室における取組状況について報告があった。

☆ 留学支援や就職支援、さらにはランチ支援などの困窮した学生への支援に関する

取組等を多数実施していることについて、大変心強く思う。

☆ ダイバーシティ推進室の取組等を含め、ダイバーシティについて力を入れていることについて嬉しく思う。外部からの評価結果等においては特筆されていないかも知れないが、今回報告にあったような良い取組は多数あるので、自信を持って進めていって欲しい。

△ 本学の活動を取りまとめたものを、記者向けのメールマガジンとして配信を開始している。学外委員の方々にも参考になると思われるため、別途案内させていただく予定である。

2 次回日程（令和3年11月18日（木））

坂井学長から、次回日程の開催時刻については、改めて各委員のご都合を伺いたい旨の連絡があった。

以上